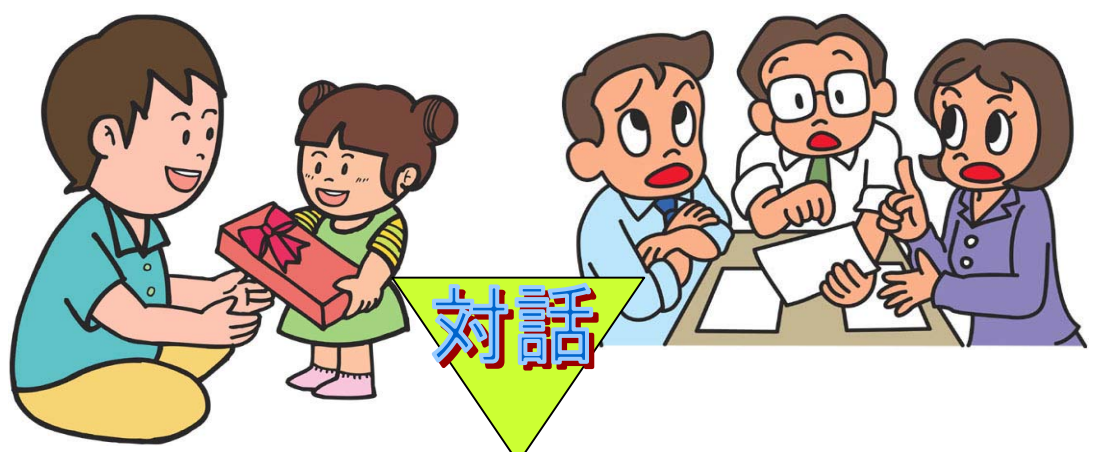


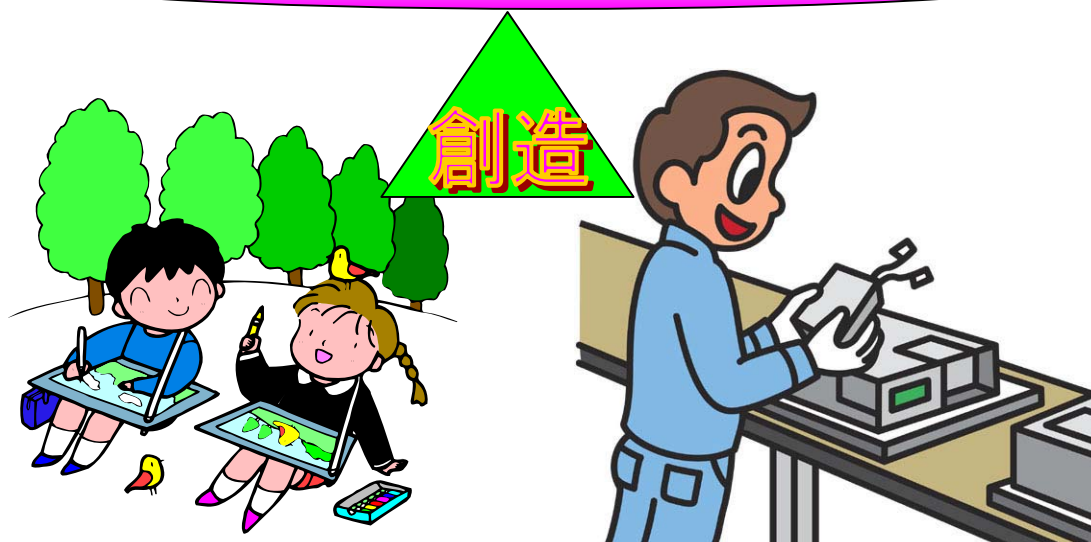
第2章 ビジョンの基本的な考え方

人づくりは、家庭や地域、幼稚園・保育所、学校、市民活動団体、企業、行政が、人づくりの理念や目標を共有するとともに、それぞれの役割を十分に果たし連携・協力することで、はじめて実現するものです。

第2章では、「21世紀社会を生き抜くために求められる力」を身に付けるため、基本理念を「心豊かでたくましく生きる人を目指して」とし、「対話」と「創造」を基本に据えるとともに、その理念に基づく7つの基本目標と特に身に付けたい力を明らかにしました。



心豊かでたくましく生きる人を目指して



1 基本理念

心豊かでたくましく生きる人を目指して
心の触れ合う「対話」と未来を切り拓く「創造」を通して -

宇都宮市は、歴史と伝統に支えられた北関東の雄都であるとともに、先端産業を有する人口45万人を超える都市であり、今後の発展が期待されている「まち」です。このような可能性がある「まち」だからこそ、伝統や先人たちの優れた知恵などを尊重しながらも、市民一人一人が社会の一員としての義務を果たし、未来を「共に創る」ことができる人づくりを推進することが求められます。

しかしながら、21世紀社会は、自らの判断と責任により、国や世界と対話しながら生きていく「個を中心とした社会」であるとともに、様々な人々や文化、環境などが共存をしながらより良く生きていく「共生が求められる社会」という二面性を有しております。このような社会において、未来を「共に創る」ことができる人とは、個としての自分を大切にしながらも、社会の一員としての自覚や地域に対する誇りをもって行動することができる人であります。

したがって、21世紀の宇都宮市において、市民一人一人が未来を「共に創る」には、「他を理解し共により良く生きようとする態度」や「自らの目標の実現に向けて果敢に挑戦する姿勢」を身に付けることが重要であり、基本理念を「心豊かでたくましく生きる人を目指して」とし、心の触れ合う「対話」と未来を切り拓く「創造」を通して人づくりを実現します。



「心豊かで」とは

心の豊かさとは、「他を理解し共により良く生きようとする態度」の基本となるものであり、ものごとに感動する感性と自分以外の「他」を受け入れ尊重したり、モラルやルールを守ったりする姿勢を意味します。

この心の豊かさは、多様な価値を認め尊重する姿勢を生み、様々な問題解決場面でより高い次元での解決の方策を見出し、自己の人生をより豊かにしたりすることにつながります。

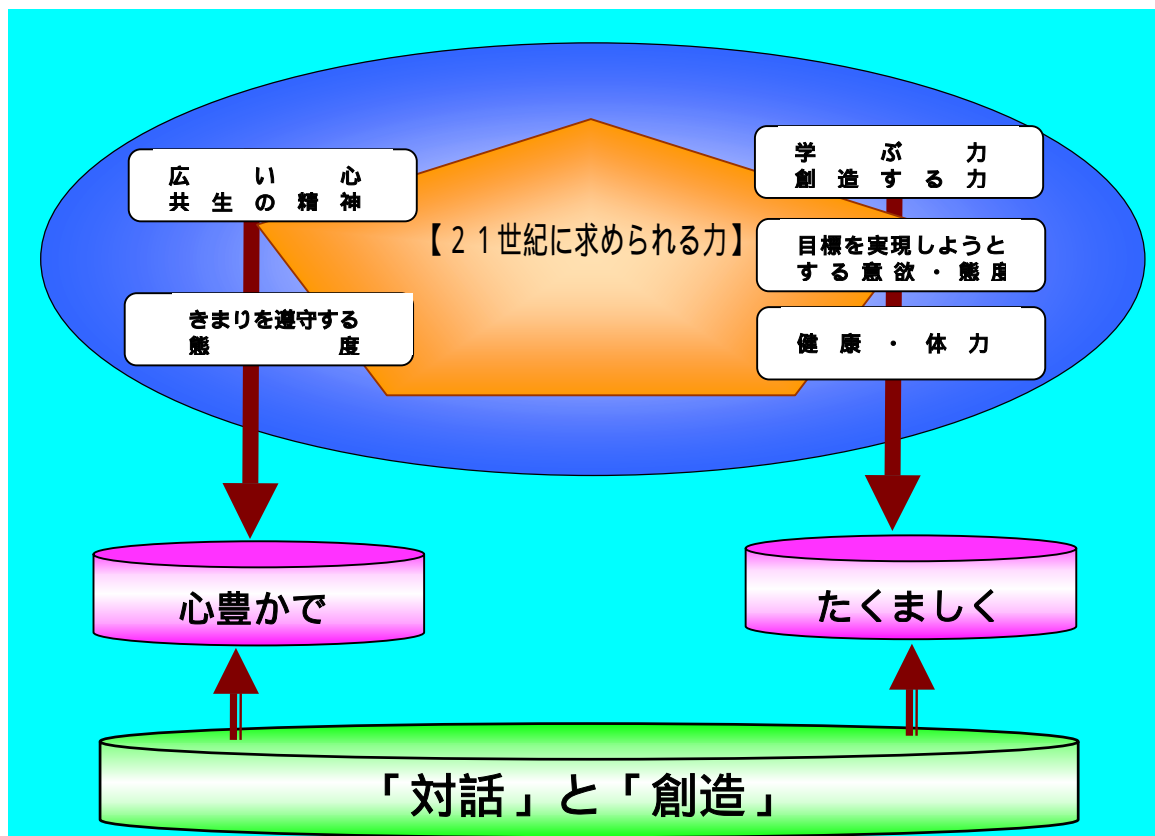
第1章「21世紀社会を生き抜くために求められる力」の「広い心、共生の精神」や「きまりを遵守する態度」を総括するものです。

「たくましく」とは

たくましさとは、「自らの目標の実現に向けて果敢に挑戦する姿勢」の基本となるものであり、目標実現のために積極的に行動しようとする意欲と直面する課題を創造的に解決する力、それを支える健康・体力を意味します。

このたくましさは、もって生まれた健康・体力を生かしながら、自らの責任において、自己の夢の実現に創造的に取り組み、全うしようとする姿勢につながります。

「21世紀社会を生き抜くために求められる力」の「目標を実現しようとする意欲、態度」や「学ぶ力、創造する力」、「健康・体力」を総括するものです。



基本理念を支える「対話」と「創造」とは

人づくりの基本理念は、「対話」と「創造」という2つのキーワードに支えられています。

宇都宮の人づくりは、市民一人一人が様々な「対話」を通して、互いのよさを伝え合うとともに、様々な課題について共に考え、「創造」的に解決できる力を身に付けることを目的としています。

「対話すること」の意義

「他を理解し共により良く生きようとする態度」とは、愛情をもって「他」をかけがえのない存在として認め、尊重しようとする心をもつことです。「他」とは、決して人だけではありません、自然であり、文化も考えられます。自分と異なる人、自然、文化を受容し尊重する心をもつには、まず自己の固有の良さ、つまり、「自分らしさ」「人間らしさ」などの「らしさ」を自覚することが重要です。これにより、他との違いを見つけ、自分への確かな自信へとつながり、他を尊重できるものと考えます。

このような態度を身に付けるためには、「人」と「人」、「自然」、「動植物」との「対話（触れ合い）」が極めて重要であることから、基本理念のキーワードとして「対話」を設定しました。

【対話とは】

自分が本当に考えていること、感じていることを相手に表現し、また相手が本当に考えていること、感じていることを受け止めていくことを通して、自己の認識や感受性を豊かにし、互いに新しい自分をつくり合っていくことです。

【対話の方法】

情報通信技術を活用した対話も考えられますが、相手と同じ「時間」と「場所」を共有し表情を見ながら行う「対話」が極めて重要です。

【対話の対象】

対象は、決して「人」だけではありません。動植物であったり、「モノ」であったりすることも考えられます。特に、人づくりにおいては、ライフステージごとに重要となる対象は異なっており、重点化を図る必要があります。

【ライフステージで重要となる対話の対象】

人は、各ライフステージで自然や様々な人々などとの対話により、たくさんのことを学びます。特に、各ライフステージで重要となる対話には、次のようなものがあげられます。

	家 庭	地 域	社 会
高 齢 期	子ども, 孫 配偶者	地域の人々	社会の人々
成 人 期	子 ども 配 偶 者 祖 父 母	地域の子ども 地 域 の 青 年	職場の人々
青 年 期	家 族	地域の人々	職場の人々 社会の人々
少 年 期	家 族	友達, 学校の先生 地域の人々 自然, 動植物	
乳 幼 児 期	家 族	友達, 自然, 動植物 幼稚園・保育所の先生	

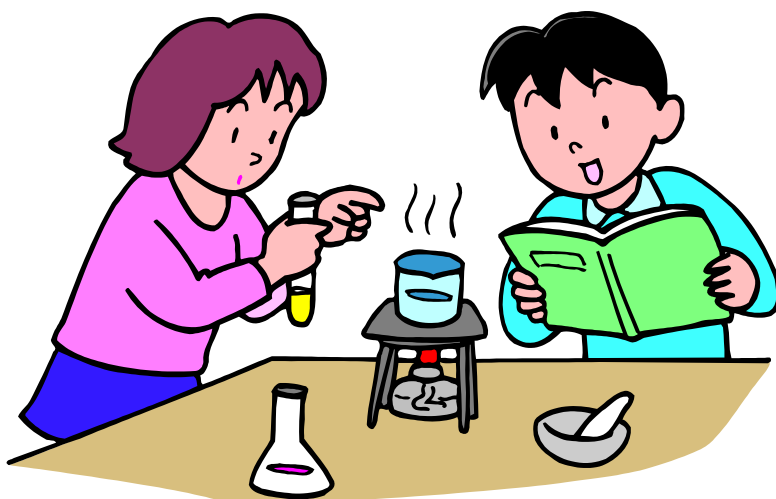


「創造」の意義

「自らの目標実現に向けて果敢に挑戦する姿勢」とは、様々な問題点に対して、知識や知恵を大切にしながら、固定観念にとらわれない柔軟な発想によって「創造」的に問題解決する力をもつことです。この力は、自己実現のための大きな推進力になるとともに、新しい時代を切り拓くために不可欠なものです。また、平成15年に実施した市民意識調査(注18)においても、宇都宮市民が最も身に付けたいと望んでいる力であることから、この力を「創造」として、基本理念のもう一つのキーワードとしました。

【創造とは】

先人の築き上げたものや価値をしっかりと受け止め、それを生かしながら新しいものを作り上げることです。また、創造的な問題解決とは、先人たちの知恵を生かすとともに、固定観念を超えた柔軟な発想により問題を解決することです。



(注18) 市民意識調査 平成15年11月20日(木)～12月4日(木)に宇都宮市民1,833人に行った教育に関する市民意識調査。「創造」については、資料編P3参照。

2 基本目標

宇都宮の人づくりを実現するためには、市民が自ら積極的に学んだり活動したりすることが大切です。また、市民相互に教え教えられ共に活動することで、人づくりを促進していきたいと考えています。このようなことから、基本理念を具現化する7つの基本目標を市民の行動目標として設定します。

(1) 目標の実現に向けて、自らの責任において主体的に行動します。【自己実現】

どのような社会であっても、目標実現に向けて、確固たる意志をもちながら、自己の責任において、粘り強く自己実現に取り組むことを目指すものです。

特に、身に付けたい力

- ・ 意志力，忍耐力，粘り強さ
- ・ 職業観，勤労観
- ・ 金銭管理能力

(2) 生涯を通じて学び続け、課題解決に努めます。【課題解決】

激変する社会で、常に学び続ける姿勢をもつとともに、必要な情報を活用しながら創造的に問題解決することを目指すものです。

特に、身に付けたい力

- ・ 基礎学力
- ・ 問題解決能力
- ・ 想像力
- ・ 表現力
- ・ 語学力
- ・ 情報技術力

(3) ものづくりを通して、つくる喜びを感じ、技術・文化の伝承や科学の理解に努めます。

【技術・文化の伝承，科学の理解】

市民が求めている創造性と本市の産業界を支える人づくりの視点から、先人の知恵や技術を結集し形あるものを創り出す取組である「ものづくり」を通して、つくる喜びを感じ、技術・文化の伝承をし、科学を理解することを目指すものです。

特に、身に付けたい力

- ・ 新しいものを創り出す態度
- ・ 思考力
- ・ 喜んでものづくりに取り組む態度

(4) 他者を思いやり，様々な人々と協力して，共に生きるよう努めます。【思いやり・共生】

人と共に生きるためには，自他をかけがえのない存在として認め，互いに思いやること
が大切であり，その基礎となる共生の精神や生命尊重の精神などを身に付けることを目指
すものです。

特に，身に付けたい力

- ・あいさつ，言葉遣い
- ・コミュニケーション能力
- ・人間関係形成力
- ・奉仕の精神
- ・思いやり，共生の精神
- ・倫理観
- ・平和を願う心
- ・死生観

(5) 自国文化や異なる文化を理解し，新しい文化の創造に努めます。【文化創造】

自国の文化を理解し，異文化を受け入れ，それぞれの文化を生かしながら新しい文化を
創造することを目指すものです。

特に，身に付けたい力

- ・自国文化理解（伝統，習慣，礼儀作法）
- ・異文化理解
- ・新しい文化の創造

(6) 社会のきまりを守り，協力し合いながら生活ができるように努めます。【きまり遵守】

社会生活する上で，法律，地域社会のルールなどのきまりを守ることや社会人としての
義務を果たすことは最低限の条件や基本であることから，それらの一層の充実を目指すも
のです。

特に，身に付けたい力

- ・法令遵守
- ・社会のルールの遵守
- ・基本的な生活習慣の定着
- ・権利や義務の理解
- ・社会の一員としての自覚
- ・公共心

(7) 生涯にわたってスポーツに親しみ，健康や体力の保持・増進に努めます。

【健康・体力の保持増進】

自己のもつ健康や体力を保持増進することは，人の幸せの基本であり，このため，スポ
ーツやレクリエーションに親しむとともに，「食」などを通じた自己管理能力を高めること
を目指すものです。

特に，身に付けたい力

- ・スポーツに親しむ態度
- ・体力の保持，食の自己管理能力